

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西原1号線配水管工事(西吉田配水区)) 整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市新西原地内					
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和40年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。					
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm～φ250mm L=126.3m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
		円				円
	事業費	12,058,200				12,058,200
	交付金額	8,500,000				8,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。</li> <li>今回整備したエリアで7件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。</li> <li>立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。</li> </ul>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：大溝線配水管工事（下宿配水区））整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市下吉田地内					
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和50年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。					
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ75mm～φ200mm L=205.2m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	16,097,400	円			円
	交付金額	12,500,000				12,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。</li> <li>今回整備したエリアで9件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。</li> <li>立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。</li> </ul>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：壇特山横道2号線配水管工事(白糸配水区)）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市上暮地地内					
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間は水道本管が未布設の区間であり、沿線住民は各個人の給水管にて遠方の水道本管より給水を行っている。また老朽化が著しいものが多く、そのため地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。					
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm L=89.5m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	4,821,120	円			円 4,821,120
	交付金額	3,000,000				3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化し、耐震性能に乏しい給水管により給水していた区間に新規の耐震管に布設したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。</li> <li>・今回整備したエリアで5件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。</li> <li>・立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。</li> </ul>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：石山凍結防止剤積込み倉庫）整備事業				
補助事業者名	富士吉田市				
実施場所	富士吉田市下吉田地内				
補助事業の成果の目標	本市は冬季(12月～3月)の降雪量は比較的少ないが夜間は氷点下に気温が下がり、一旦降雪があると除雪をしても夜間には道路が凍結する日が数日間続くことがある。本市では2台の散布車を所有しており、2社の業者に貸出して指定の道路に凍結防止剤の散布を行っている。 しかしながら、各業者には除雪作業も委託しており、緊急の対応ができない状況である。このような状況に対し、業者を限定せず、また、職員による凍結防止剤の積込み及び散布を行うことにより、路面凍結の危険性に対して迅速な対応を可能とする体制を整え、冬季のより良い地域の生活環境を確保するものある。				
補助事業の内容	凍結防止剤を散布車へ積込むことが可能な施設の整備				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		30年度			計
	事業費	63,290,160	円		円
	交付金額	44,000,000			44,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業を実施したことで、凍結防止剤を迅速かつ広範囲に散布が可能となった。これにより、路面凍結部分が減少し、路面凍結が原因の交通渋滞が緩和され、冬季における地域住民の生活環境の質の低下が抑制された。また、工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載や市のホームページにて工事情報の周知及び掲載を行うことで、地域住民への周知を図った。				
事業の改善措置及び今後の対応	今後は、凍結防止剤の積込みや散布作業をより効率的に実施できるような体制を構築する。また、公共施設であることの観点から、施設管理を徹底する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし				

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器（その1））整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市立病院						
補助事業の成果の目標	最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。						
補助事業の内容	手術用无影灯 一式 産婦人科健診台 一式 超音波診断装置 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
		円					円
	事業費	41,850,000					41,850,000
	交付金額	36,000,000					36,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>医療機器を更新したことにより、年間の故障回数が0回と減少したため、故障等の発生リスクが排除された。</p> <p>また、最新鋭の医療機器が整備されたことにより、地域住民へ安定した質の高い医療の提供を行うことができた。</p> <p>整備状況について、平成31年2月号広報や当院ホームページにて、手術用无影灯、産婦人科健診台、超音波診断装置の概略及び防衛省の交付金にて整備したことを掲載し、周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：外国語指導委託事業）					
助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市立小中学校					
補助事業の成果の目標	小学校3・4年の外国語活動，小学校5・6年の外国語科，中学校の外国語科の全ての授業において，外国語指導教員ALTの派遣委託事業を行い英語でのコミュニケーションの力を高め、英語や他国の文化に関心を持たせ、本市児童生徒の学力の向上を図る。					
補助事業の内容	富士吉田市立小中学校における外国語指導のために外国語指導講師（ALT）9名の派遣業務を委託し，市内小中学校の外国語教育の充実と国際理解教育の推進を図る事業である。					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	28,183,945 円				28,183,945 円
	交付金額	26,000,000				26,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>中学校への配置は継続しつつ新学習指導要領導入の移行措置として小学校3～6年生において15時間の外国語活動、外国語科授業増に対応して全ての授業にALTを配置することができた。また、全校においてALTが学級活動や学校行事などに年間を通じて積極的に参画し、児童生徒の異文化理解やコミュニケーション力の向上に多大な貢献があった。</p> <p>外国語活動や外国語科の目標に準拠した評価により、「慣れ親しみ」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」に関し、活動観察、パフォーマンス評価、ペーパーテスト、意識調査等の評価方法により達成状況を把握できた。</p> <p>教育委員会のホームページ（教育研修所からのお知らせ）により、特定防衛施設周辺整備調整交付金が事業費に充てられる旨の周知を行う</p>					
事前の改善措置及び今後の対応	次年度も引き続き達成状況を把握し、ホームページでの啓発を継続する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（医療に関する事業：生活習慣病対策【がん検診事業】）					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士北麓総合医療センター（富士吉田市緑ヶ丘2丁目7番21号）					
補助事業の成果の目標	本事業の実施により、地域住民の生活習慣病（がん疾患等）への対策が行われ、疾病等の早期発見により住民の健康増進を図る。					
補助事業の内容	健康増進法及びがん対策基本法に基づく各種がん検診委託					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	29,935,403	円			円
	交付金額	23,764,000				23,764,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>受診率は、約半数のがん検診で若干上昇した。広報を中心にHPやFB、ポスターの掲示、教室や地区の集まりに出向いてPRなど、様々な年代にアプローチするような周知や市が指定する3種のがん検診をすべて受けたら自己負担が割安になるがんパック検診を実施するなどして受診を促した。</p> <p>平成30年度から後期高齢者の胃がん検診を血液検査でできる検診に変更したところ、「受けやすくなった」と好評であった。</p> <p>検診の申込を当課で受ける中で市民の要望が直に聞けたり、事業のアンケートから把握したりすることで、次年度の改善のための参考にした。</p>					
事業の改善措置及び今後の対	検診環境の改善について、市民から要望の高かった土日の検診開催日の増加や乳がん検診も同日に受診できる日程の増加、子宮がん検診の集団検診の実施の実現に向けて検討することができた。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	平成30年度北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：上吉田・中曽根地区公共下水道管渠布設工事）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市 上吉田・中曽根地区 （1工区）上吉田・中曽根 赤坂線・東原1号線 （3工区）中曽根 大溝支線					
補助事業の成果の目標	下水道を整備する事により、衛生環境の向上と公共水域の保全を目的とする。					
補助事業の内容	VUφ200mm 工事延長L=219.7m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	28,377,000	円			円
	交付金額	21,500,000				21,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当事業により15件の下水道処理が可能となった。 また、下水道接続に伴い水路等への排水を抑制することができたため、住環境の改善や公共水域の水質保全を図れた。</p> <p>工事前の回覧板や工事中の立て看板に防衛省の交付金事業である旨を記載し、地域住民への周知を徹底し、工事後には広報誌へ供用開始地区の掲載や個別の通知等で下水道接続を周知するなど普及促進に努めた。</p>					
事業の改善措置及び今後への対応	個別訪問等による普及活動を行っていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					



## 事業評価書

補助事業名	平成30年度北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：中曽根・小明見地区公共下水道管渠布設工事）整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市 中曽根・小明見地区 （4工区）中曽根 吉田高校通り線 （5工区）小明見 小明見下の水線					
補助事業の成果の目標	下水道を整備する事により、衛生環境の向上と公共水域の保全を目的とする。					
補助事業の内容	VUφ200mm 工事延長L=138.6m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	17,107,200	円			円
	交付金額	12,500,000				12,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当事業により12件の下水道処理が可能となった。 また、下水道接続に伴い水路等への排水を抑制することができたため、住環境の改善や公共水域の水質保全を図れた。</p> <p>工事前の回覧板や工事中の立て看板に防衛省の交付金事業である旨を記載し、地域住民への周知を徹底し、工事後には広報誌へ供用開始地区の掲載や個別の通知等で下水道接続を周知するなど普及促進に努めた。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	個別訪問等による普及活動を行っていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西原20号線配水管工事（西吉田配水区））整備事業					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市新西原地内					
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和40年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。					
補助事業の内容	配水管工事 DIP φ100mm L=352.6m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	18,452,880	円			円 18,452,880
	交付金額	13,000,000				13,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。</li> <li>今回整備したエリアで19件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。</li> <li>立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。</li> </ul>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：金鳥居西 1 号線側溝改修）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市松山地内						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線の道路側溝は経年劣化により、側溝本体や側溝蓋のひびわれが多く見受けられ、一部は側溝蓋の損傷により本来の有効幅員を確保できていない状況である。</p> <p>また、地域住民から側溝の損傷により、雨が降ると部分的に冠水し生活に支障が出るなどの要望が寄せられたことから、状況等を確認したところ早急に工事を実施する必要があるため、当該路線を整備し、地域の生活環境を確保する。</p>						
補助事業の内容	改良 L=198.0m						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
	事業費	円 10,457,640					円 10,457,640
	交付金額	4,900,000					4,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、当該路線の有効幅員が確保でき道路利用者の安全性を確保することができた。また、排水機能の回復により大雨時の冠水等が改善され地域の生活環境を確保できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載</li> <li>・ 市のHPに掲載</li> <li>・ 市の広報誌に掲載</li> <li>・ 回覧板にて工事情報を周知</li> </ul>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（交通施設：明見東通り線交差点改良）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市大明見地内						
補助事業の成果の目標	<p>明見東通り線は、国道138号線や県道717号線等富士吉田市内の主要道路に合流するため、幅員は狭いものの市民の生活道として広く利用されており、特に通勤時間帯は交通量が多く日常的に混雑している状況である。</p> <p>当該交差点は、市内中心部方面に向かうため、多くの車が右左折を行うが交通量が多いなか交差点が狭いため、右折車が右折できず交差点内で停滞してしまうことで頻繁に渋滞が発生するなど市民生活に影響が生じている。</p> <p>そのため、当該交差点を拡幅し右折専用レーンを整備することで渋滞の緩和を図り市民生活の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	改良 車道舗装工L=159.6m 歩道舗装工L=51.3m 物件補償1.0式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
	事業費	円 45,709,526					円 45,709,526
	交付金額	39,500,000					39,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、当該路線の渋滞を緩和することができた。また、交差点の有効幅員を広げたことと、歩道を整備したことにより、交差点の安全性を向上させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載</li> <li>・ 市のHPに掲載</li> <li>・ 市の広報誌に掲載</li> <li>・ 回覧板にて工事情報を周知</li> </ul>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後より右折がしやすくなるような調整として、信号機を時差式にするなどの要望を行っていく。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西原 2 4 号線外 1 路線排水路）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市地内						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線は、富士吉田市の主要な幹線道路である市道中央通り線の北西側に位置している。市道中央通り線については都市計画街路でもある。そのため集中豪雨や台風の影響で降水量が増加すると、周辺地域において、たびたび冠水が発生し通行止めとなり、市民生活に影響が生じている。</p> <p>今回の事業により上流域の排水路の流水量を増やし、排水先を宮川方面に変更することで下流域に流れ込む雨水の量を減らし、冠水を抑え市民生活の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	改良 L=330.0m						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
		円					円
	事業費	25,284,960					25,284,960
	交付金額	19,600,000					19,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業で排水路の断面を大きくし排水先を宮川に変更した。これにより下流域に流れこむ雨水の量を減少させ、冠水の発生を抑え快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載</li> <li>・ 市のHPに掲載</li> <li>・ 市の広報誌に掲載</li> <li>・ 回覧板にて工事情報を周知</li> </ul>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も住民に事業の内容を周知し、快適な市民生活を確保するために実施していきたい。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（福祉に関する事業：特別支援員教育支援員配置事業）					
補助事業者名	富士吉田市長					
実施場所	富士吉田市内小中学校					
補助事業の成果の目標	本市の障害者福祉計画において、妊娠、出産、乳幼児期から成人まで、障害がある人やその家族を取り巻くライフステージの変化に対して、早期発見、早期療育に向けた相談支援や生活支援などがより活用できる環境整備が必要としており、特に学校教育の中で、人と人がともに助け合い、支え合うことに積極的に取り組み、その心を育むため、支援を必要とする児童生徒の周辺におけるサポート体制の向上に努め、将来の福祉環境の充実を図る。					
補助事業の内容	富士吉田市内小中学校に在籍する支援を要する児童生徒への学校生活の支援や補助を行う。また、支援を要する児童生徒が属する学級がスムーズに運営できるよう、見守りと必要に応じた支援を行う。					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		30年度				計
	事業費	15,338,159	円			円
	交付金額	13,515,000				13,515,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	特別支援員を配置することにより、支援を要する児童生徒がより快適に学校生活を送ることができただけでなく、在籍する学級のスムーズな運営に資することができた。当市教育委員会のホームページや特別支援教育支援員等の募集通知により、特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を周知している。					
事業の改善措置及び今後の対応	現在の特別支援教育支援員の配置が適正であるか否か、各校及び対象児童生徒の家族からの意見を聴取し、配置計画等を立案し、改善していく。また、各校において十分な支援員の配置ができるよう、新たな人員募集を含め支援員の人材確保に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器（その2））整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市立病院						
補助事業の成果の目標	最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。						
補助事業の内容	手術用无影灯 一式 デジタルX線TVシステム 一式 超音波診断装置 一式 筋電図・誘発電位検査装置 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
	事業費	円 52,704,000					円 52,704,000
	交付金額	45,000,000					45,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>医療機器を更新したことにより、年間の故障回数が0回と減少したため、故障等の発生リスクが排除された。</p> <p>また、最新鋭の医療機器が整備されたことにより、地域住民へ安定した質の高い医療の提供を行うことができた。</p> <p>整備状況について、令和元年6月号広報や当院ホームページにて、手術用无影灯、デジタルX線TVシステム、超音波診断装置、筋電図・誘発電位検査装置の概略及び防衛省の交付金にて整備したことを掲載し、周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（医療に関する事業：子育て応援助成事業）							
補助事業者名	富士吉田市長							
実施場所	富士吉田市下吉田6-1-1							
補助事業の成果の目標	<p>我が国の年間の出生数は、第2次ベビーブーム以降、毎年減少を続け、近年まで緩やかな減少傾向となっている。</p> <p>少子化の原因の一つとして子育てに対する経済負担の増加があることから、少子化対策の一環として、家庭の子育てにおける経済負担を軽減する目的で、乳幼児・児童（0歳～15歳）が病院などを利用した際の医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』を行うことで、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整える。</p> <p>参考指標 平成29年度 医療費助成利用者（H30.3.31現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数 5,360人</li> <li>・利用件数 83,446件</li> <li>・総助成金額 178,627,020円</li> </ul>							
補助事業の内容	乳幼児・児童が病院などにかかったときの医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』に係る基金造成事業							
補助事業の始期及び終期	平成24年度から平成32年度まで							
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		円	円	円	円	円	円	
	事業費	85,189,898	96,148,779	88,168,791	91,078,000	98,115,396	102,693,793	
	基金造成額	交付金	60,000,000	37,398,000	133,821,000	67,700,000	0	88,000,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	60,164	67,828	133,948	199,035	101,751
		計	60,000,000	37,458,164	133,888,828	67,833,948	199,035	88,101,751
	基金処分額	0	30,000,000	67,398,000	70,000,000	64,147,374	67,936,352	
	基金残額	60,000,000	67,458,164	133,948,992	131,782,940	67,834,601	88,000,000	
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	計	
		円	円	円	円	円	円	
	事業費	97,118,876	91,253,841	0	0	0	749,767,374	
	基金造成額	交付金	0	0	0	0	0	386,919,000
市町村費等		0	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	0	
運用益		132,000	87,198	0	0	0	781,924	
計		132,000	87,198	0	0	0	387,700,924	
基金処分額	30,000,000	30,000,000	0	0	0	359,481,726		
基金残額	58,132,000	28,219,198	28,219,198	28,219,198	28,219,198	28,219,198		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>・医療費助成事業利用件数等を各年度と比較したところ、平成30年度については過年度と同等の利用状況がみられることから、子育てに対する経済的負担の軽減に寄与し、市民にとって子育てし易い住み良い環境を整備できた。</p> <p>平成30年度 利用人数 5,245人 利用件数 78,967件 総助成金額 163,484,710円</p> <p>・富士吉田市ホームページの本事業の紹介ページ及び対象者に送付する子育て支援資格者証に防衛省関連補事業であることを記載した。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	住民への周知を徹底し、他の子育て関連事業との連携を検討するなど、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整えていく。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							



## 事業評価書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業（良好な景観の形成に関する事業：富士北麓地域づくり協議会運営事業）								
補助事業者名	富士吉田市								
実施場所	富士吉田市・山中湖村・忍野村								
補助事業の成果の目標	富士北麓地域において演習場の存在、富士山等の自然環境保全及び文化の継承、周辺地域の発展・調和・共生させるため、富士北麓地域づくり協議会を設置し、この地域の特色を活かした将来に渡る地域づくりの計画、施策について協議を行っていく。								
補助事業の内容	地域づくり協議会運営事業								
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成30年度まで								
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
	事業費	円 0	円 544,780	円 642,452	円 310,060	円 100,864	円	円	
	基金 造成 成額	交付金	300,000						
		市町村費等	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		運用益	0	452	300	151	0		
	計	300,000	452	300	151	0			
基金処分額	0	100,000	100,000	80,000	20,903				
基金残額	300,000	200,452	100,752	20,903	0				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>地域づくり協議会を開催することで、富士北麓地域に関わる団体等からこの地域の特色を活かした将来に渡る地域づくりの計画・施策について様々な意見を募り、富士北麓地域づくり基本計画を作成し、演習場の存在、富士山等の自然環境保全、周辺地域の発展・調和・共生の道筋を作ることができた。</p> <p>また、講演会を開催するなどし、富士北麓地域住民の意識の向上を図るなど、将来に向けた意識改革等に取り組むことができた。</p> <p>（協議会実績）  H27：富士北麓地域づくり協議会作業部会 5回開催  富士北麓地域づくり協議会 1回開催 富士北麓地域づくり協議会勉強会 2回開催  H28：富士北麓地域づくり協議会作業部会 4回開催 地域づくり協議会 1回開催  地域づくり協議会講演会 1回開催  H29：富士北麓地域づくり協議会作業部会 5回開催 富士北麓地域づくり協議会 1回開催  H30：富士北麓地域づくり協議会事務局会議 2回開催</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	今後の富士北麓地域の発展に繋がるよう協議会で得られた知見を有効に活用したい。								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								